



三
師走も静かなボ―ル修道院

[illegible]

年賀郵便・小包の洪水・電報！

ん京城局の陣中見舞

さうだが大丈夫か」
と次々と質問をあげ、次いで三體
の通稱、時表に入る、一步踏み込
むと百歩の背算、逆算、算へん々
の出て、通稱の音字を「ん」
と、二百廿二と、五里人の通稱手
さ込んで、
「アケマシオメデトウ」
と聞き出す指しきに見入る、次い
で代表の「五」をつづけし
で一舟に手をためて留置し
次の敵陣には總督は將軍
「休め」と三軍叱配の將軍
仕事を誇げしめる、総司令
總師が敵陣に手をつき、
敵の軍が板に板につく
敵の鎧戸を午目足らず
へつて指先は小遠眺と

夜各署巡邏

三橋本町警察署には、同署の警備状況として、**歳末警戒員を慰勞**の題で、**お餅を贈る**の文が、**日本橋十一時**から、**お餅を贈る**の文が、**宛を贈ります**

數十萬圓の賄收
事、高橋義典、駐米
公使本島久

[illegible]

湯屋から發火二百棟焼

【秋田電】廿九日午間一時五十分ごろ秋田縣山本郡能代町中野湯屋敷父兄吉方から出火、折橋、北西の風に煽られて火は急に四方に燃え廣がり、出火と同時に市役所が炎に食ひ、出火と同時に市役所が炎に食ひ

翌は勿論、附近町村からも青年隊等消火につとめた。運送し、手の離しやうを失ふ可い。

羽立町、長根町、富岡町の各戸十一連、土壁上等

府民館で映畫觀
て新春を半島 民館大ホールを軍國色

府民館で映畫觀賞

◆◇◆◇散居くゝ讀れて新春を牛島
 迎へる在留歸國の新兵さんたち
 を慰めようと、各々の初日を利
 用し京娘府主館 新兵さん慰安の
 足館にボールを重國色のカ
 にもと願大に開かれた

名 寒 壮 士

中で午後零時半から工兵廿
野砲廿六（中六六） 騎兵廿八（中二八）

内地送とおまけは本
白栗大郎へ

不良十數名を

〇……けふばか
 大喜びの一日
 引あけた（喜舞
 映）

前九時半から京城(東京)原里(原)へ出かけるが、次いで十三時

六、七、四、四、四、ホッケー、
トリーメントカ、はるの
スピード種目は(男子)
千五百米、五千米、一萬
子、五百米、千五百米、
二千米リレー(男女)五
千五百米
フィギュアスケートは、
参加希望者は、早稲本町
御膳茶土屋に練習費

特題

應と煙ろの虎の子五十星
 ると、仕舞つた！紛失し
 れたか？總館になつて煙
 車を得つ聞
 城廓三聖待
 隠郷するつ
 く、十五日
 十五日後



出来ません」

とチヨツギ内ボケツト
れのと氣遣に封鎖に入
聞きまばいんをしても
☆……隣井若、第百に抱
「あつた！ あつた！」と
走狂騒曲の一頁
▲「参名早典」(金澤)
二三四五六七八九十
立第一(高等女學校八丁)
何何と呼ぶのでせう
けふの天氣

西安事件と東亞の新勢
最近支那の經濟的動向
對支問題の根本要件
樞東情勢の一考察
米國の東洋に關心を有する理
日支經濟提携に就て
孫中山
日獨協定の本質と特異性
法政學
日獨協定に対する嚴正批判
政治學
日獨伊接近と日支交渉決裂
國際關係論
日獨防共協定と英國の去就
外交史
亞細亞の嵐と日獨協定
國際政治
ドイツの講和條約廢棄
國際公法

新書信大號

(本邦發行所)

モンロー主義の徹底的究討
輻輳承認から政府承認へ
外交戰略論と外交大學
法政學
歐洲不安の原動力
國際政治
歐洲國際情勢と東亞時局
國際關係論
地中海問題と歐洲の動向
地理學
明治維新前後の内と外
南米の移民に就て
社會學
蘇聯の外交圖策の展望
國際政治
原則不變の太平洋外交
國際公法
布哇立州の問題に就て
南洋研究
世界民間航空最近動向
交通運輸

新橋

みどり

歌謡流

石松

ふ

物凄い流行ノ
全國に大流行
誰方も是非お
早くお求めを

白一興川端 羽水香川端

浪曲におなじる
石松氏愛、千石
道中を唄つたも
で、後進曲唄
食鯛子を取入れ
みどりさんか
テに面白く聞
せてをます

お面かむつて

（石松の
子）

お面かむつて

歌

夜は嬉しいね

Western SYSTEM

現在 今千代

田代百合子
松田定次
田代百合子
松田定次
田代百合子
松田定次

浅草の情感
丸代 彦 彦

（教一田）

ド・コレイア

ムスを研いで
一年一枚

一、二〇〇日

安全剃刀

男爵 毛利元良

朝日新聞

會館番書本館 社合式有 元資發出賃

三三物換人
三三物換人

三三物換人
三三物換人

醫學博士 小村 榮三
內科
兒科
公衆衛生 婦科 皮膚科
各病門診 三三三三三三三三
公衆衛生 婦科 皮膚科

お茶は 本町水清元園

解雇廣告

社員任桂淳

右の者解雇仕候間爾今本社と關係無之此の
段謹告仕候也

明治二十一年十月

京城府資金町三丁目

朝鮮記綠映畫製作所

高島金次

電話本局六六八番

電話 〇五七號
法政新聞社
京城府東區三番地

電話 〇五七號
法政新聞社
京城府東區三番地

簿記 株式會社廣利興
月金 〇月八日開始
太不道大坂市
本宅 本宅四七二番

惠山鎮警察署

惠山鎮本町
鹽大和屋商店
代客省
中村喜三
電話五〇番

